

成績評価における客観的な指標の設定

本学では以下のとおり、成績評価において、予め客観的な指標を設定し、数値を算出している。算出された数値は、退学勧告の基準として用いている。

【2018年度以降入学生対象】

成績評価における客観的な指標は、f-GPA（ファンクショナル・グレード・ポイント・アベレージ）方式により算定する。算出方法は、以下のとおり。

(履修した各科目の GP×単位数) の合計

履 修 単 位 数

※GP = (科目の得点 - 50) / 10 ただし、科目の得点が 60 点未満の場合、GP は 0 とする。

- (1) 評定値算出対象科目は「卒業要件対象科目」とする（卒業要件非加算の単位数は含まない）。
- (2) 評定値算出には不合格科目も対象とする。
- (3) 不合格科目を再履修した場合は、分母の履修単位数の変更はせずに、分子のみ最新評価結果に変更して算出する。
- (4) 前期終了時に評定値を算出する場合、当該年度に履修中の通年科目については、分母(履修単位数)に含めない。

なお、2018～2019 年度入学生については、「GP = (科目の得点 - 50) / 10」を「GP = (科目の得点 - 55) / 10」と読み替える。

【2017年度以前入学生対象】

成績評価における客観的な指標は、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）方式により算定する。算出方法は、以下のとおり。

(秀の科目単位数×4) + (優×3) + (良×2) + (可×1) + (不可×0)

履 修 単 位 数

- (1) 評価値算出対象科目は「卒業要件対象科目」とする（卒業要件非加算の単位数は含まない）。
- (2) 評定値算出には不合格科目も対象とする。
- (3) 不合格科目を再履修した場合は、分母の履修単位数の変更はせずに、分子のみ最新評価結果に変更して算出する。
- (4) 前期終了時に評定値を算出する場合、当該年度に履修中の通年科目については、分母(履修単位数)に含めない。

なお、環境学部及びメディア情報学部 2015 年度以前入学生並びに都市生活学部及び人間科学部 2016 年度以前入学生については、(3)を「不合格科目を再履修した場合は、分子のみ最新評価結果に変更して算出する」と読み替える。